

様式第8号

指定管理者の選定結果（公募用）

1 施設の名称 静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター

2 指定管理者の名称 株式会社ピーエーシー

3 指定期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日

4 選定の経緯

(1) 公募

ア 募集期間 令和4年10月13日～令和4年11月11日

イ 申請団体（順不同） 株式会社ピーエーシー

(2) 審査方法

ア 審査の種類

(ア) 書類審査 令和4年11月11日

(イ) プレゼンテーション 令和4年11月17日

イ 審査委員会

委員長 大村 博（経済局次長兼商工部長）

委員 桐野 勝（産業政策課長）

〃 石川 賢一（産業振興課長）

〃 杉山 浩之（株式会社販売促進研究所 代表取締役）

〃 安武 伸朗（常葉大学 造形学部長）

ウ 審査基準（審査表）

様式第18号「指定管理申請者審査表」のとおり

エ 決定方法（審査方法）

各審査委員が、書類審査とプレゼンテーションの結果に基づき上記審査項目について採点し、総合点数により決定する。

(3) 審査結果

ア 選定された団体の名称及び点数

(ア) 名 称 株式会社ピーエーシー

(イ) 点 数 121.4点/150点満点 (市が設定した最低基準点105点)

(ウ) 指定管理料提示額 62,479千円

ウ 総 評 (選定の理由等)

・施設の設置目的等を十分に理解し、クリエイターの育成・支援を通じた産業振興と地域文化振興、まちは劇場の推進に寄与する内容となっている。

・他施設や行政との連携を意識した事業企画 (OUR FESTIVAL SHIZUOKA、プラモデル&ランナーアート等) が組み込まれており、まちの賑わい創出やプラモデル振興において相乗効果が見込まれる。

・当該施設の事務職員やコーディネーター、プログラムディレクターのほとんどが来期も続投予定であり、安定した施設運営が期待できる。また、一方では、将来的にはコーディネーター、プログラムディレクターの新陳代謝を図ることも視野に入れ、若いクリエイターとのリレーション構築に努めている点も評価できる。

・平成 28 年度から当該施設の指定管理者として蓄積された知識、経験、実績は十分にある。PDCA に基づいた既存事業や管理運営体制のブラッシュアップも図られており、次期施設の管理運営も大いに期待できる。

(4) 指定管理者選定委員会

委員長 総務局長

委 員 総務局次長、市民局次長、観光交流文化局次長、環境局次長、
保健福祉長寿局次長、保健衛生医療部長、子ども未来局次長、経済局次長、
農林水産部長、都市局次長

(5) 市議会の議決 令和5年3月17日

(6) 指 定 令和5年3月17日

(7) 公 告 令和5年3月30日

指定管理申請者審査表

施設の名称 静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター

基本項目	審査項目	比率①	評価②	点数 ① × ②
【20点】 事業計画が施設の設置目的を達成するためにふさわしいものであること。	1 施設の設置目的や運営方針など市が提示した仕様書を十分理解し、その目的を達成するための事業が事業計画に反映されているか。	× 1		
	2 施設の運営方針は明確で十分な内容であるか。	× 1		
	3 事業計画の内容及び事業回数は適当なものか。	× 1		
	4 施設の利用について公平性が保たれているか。	× 1		
	【所見欄】			
【75点】 事業計画が施設の効果的・効率的な管理を実現するものであること。	1 市が示した指定管理料の上限額に対し、適正な範囲内で提示されているか。	× 1		
	2 利用者のニーズの把握と施設運営への適切な反映策が示されているか。	× 1		
	3 文化・クリエイティブ産業を振興するための啓発を進める効果的な取組が示されているか。	× 2		
	4 クリエーターと企業との連携による地域経済の活性化について効果的な取組が示されているか。	× 2		
	5 クリエーターが施設に集まり、活発に交流できるような効果的な取組が提示されているか。	× 2		
	6 パフォーミングアーツ等の支援に関する効果的な取組が提示されているか。	× 2		
	7 施設を中心とした賑わいづくりに関する効果的な取組が提示されているか。	× 2		
	8 指定管理者と市の連携の枠組みが示されているか。	× 1		
	9 収支計画は妥当か（事業計画を実施するために必要な予算処理がなされているか）。	× 1		
	10 事業計画について、指定期間内の達成目標を設定し、実施方針が示されているか。	× 1		
【所見欄】				

事業計画に沿った管理を行うために 必要な物的・人的能力を有していると認め られること。 【45点】	1 当該施設の指定管理者としての実績は十分か。又は、類似施設の管理運営実績は十分か。	× 3		
	2 定款等に定められた団体としての業務内容が、当該指定管理業務を行うのに適しているか。	× 1		
	3 事業実施及び管理に必要な人員が確保され、適正な配置計画がなされているか。	× 1		
	4 人員にパフォーマンスアーツ等に精通した人材を配置しているか。	× 2		
	5 事業実施及び管理に必要な人材やネットワークを有しているか。	× 2		
	【所見欄】			
管理の業務を適切かつ円滑に 行うための経理的基礎を有し ていること。 【10点】	1 財務諸表の状況は適正であるか（過去3年間における損益計算書又は収支計算書において損失が出ていないか。貸借対照表において債務超過となっていないか）。	× 1		
	2 適正な経理的処理能力を有しているか。	× 1		
	【所見欄】			

評価：優れている…5、やや優れている…4、普通…3、やや劣っている…2、劣っている…1

満 点	最低基準 (70%)	合計点数
150点	105点	点

【意見欄】